

8年間の感謝を込めて



前小野町長 大和田 昭

このたび、3月22日をもって、任期満了により小野町長を退任いたしました。平成25年

3月に町長に就任して以来、2期8年にわたり町政運営という重責を担わせていただきましたのも、ひとえに町民の皆さまのご理解とご協力の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

町長に就任いたしました8年前を振り返りますと、リーマンショックにより日本経済が大きな影響を受けまして、まだ完全に復活していないところに、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故によりまして、町全体が大きな閉塞感に覆われており

ました。町長として、何とか町を元気にしたいという強い思いを持ちまして、「オール小野町」で各種事業に取り組みました。小学生による元気発信交通安全パレードの実施、リカちゃん通りサマーイルミネーションの実施、民間の皆さんが中心となって開催した福島フォークジャンボリー絆in小野などによりまして、小野町に笑顔を取り戻せたものと感じております。

町政を運営するにあたり、私は「誰とも気軽に」、「町民が主役」を政治信条として取り組んできました。できる限り町民の皆さまの声を直接お聞きし、住民主体のまちづくりに努めました。

また人口減少対策、特に少子化対策につきましては、就任直後から全力で取り組みました。子育て応援金制度の創設、多目的運動施設(屋内運動場)・屋外遊び場の整備、保育料の無償化、妊産婦医療費・健康診査交通費

の助成、浮金中学校の小野中学校への統合、小野小学校の開校、スクールバスの町内全域での運行、認定こども園の開設準備など、子育て支援策の充実に努めました。

このほかにも、高齢者を中心とするタクシー料金の助成、障がい者・高齢者福祉の推進、公立小野町地方総合病院の運営の安定化、防犯灯・防犯カメラ整備の推進、防災行政無線の更新と戸別受信機(防災ラジオ)の全世界配布、消防・防災体制の強化に取り組みました。農・商・工業の振興におきましては、6次産業化商品の開発、プレミアム付き商品券の発行、工業用地への企業の誘致など、バランスの取れた産業振興に努めました。

また新型コロナウイルス感染症対策は、国内で感染が確認されましたから、最優先事項として、各種対策を講じてまいりました。感染予防を第一として、さらに、影響を大きく受けまし

た町民の皆さまの日常生活と事業所の活動を支援する施策につきましても、鋭意取り組んでまいりました。

小野町は、この地域の中心として発展してきた長い歴史を有しております。磐越自動車道小野インターや現在整備が進められているふくしま復興再生道路・県道吉間田滝根線など、交通の要衝でもあります。小野町はこれからも発展を続ける能力と可能性をひめております。退任後は一町民といたしまして、小野町のまちづくりに貢献してまいりたいと考えております。

結びに、村上昭正新町長のリーダーシップのもと、小野町のさらなる伸展と町民の皆さまのご健康、ご多幸をお祈りいたしますとともに、あらためましてこの8年間のご厚情、ご支援、ご協力に心より感謝を申し上げます。退任のあいさつといたします。誠にありがとうございます。